

ツールで加速するUSDMM

スパークスシステムズ ジャパン株式会社



SparxSystems Japan Co.,Ltd.

USDMを実践する際のツールは？

Google先生に聞いてみました。

- Excel
- Redmine
- マインドマップ
- T15のUSDMの支援ツール
- Symphony社のPRERWD
- Enterprise ArchitectのUSDMアドイン

Excel利用のメリット

実際には、圧倒的にExcel利用が多いと思われる

- (実質)タダ
- 使い方を知っている
- 融通が利く(何でもできる)

Excel利用時の問題点

- 要求や仕様の編集が面倒
 - ✓ 追加・削除・順番変更(番号変更)
 - ✓ 階層(子要求)の追加・削除
- 「グループ機能」の設定が面倒
- 経緯や現時点までの議論の推移がわからない
- 仕様の重複(別の要求の下に共通の仕様)を表現できない
- 仕様から先のトレーサビリティの確保をどうするか？
(TMもExcelで作る、が多いのでは)

USDМが使えない、
と言う話の多くは
Excel由来の問題と
区別できていない？

→(ほぼ)USDМそのものの問題ではない

解決策

Excel利用の場合、以下のような解決策が多い

- 面倒だけど気合いで頑張る
(気合いは無限！残業代は出なくてもOK！)
- Excelマクロを作成する
(日本では、マクロの自作・メンテはコストゼロ！)
- そういうものだと諦める
(人生 諦めが肝心)

→令和のやり方に変えましょう

USDMアドイン

- モデリングツールEnterprise Architect(EA)のアドイン
✓アドインは無料
- Enterprise Architectの独自の表記方法を追加する
仕組みで、USDMの要求・仕様の要素を定義
- Excel連携など、いくつかの機能を追加

USDMアドインのデモ

- 要求・仕様の作成と編集
- 図の利用
- 仕様の追加・番号の自動設定
- Excel出力と読み込み(同期反映)
- 経緯や議論などの追記
- 共通の仕様への対処 (マップやマトリックスでの確認)
- 設計要素との関係の把握

USDMアドインの問題点

- Enterprise Architectは有料
- 「変化」を嫌がる文化 - 全力で「やらない理由」を探す
 - ✓ 新しいツールを使いこなすまで時間・コストがかかる
 - ✓ Excelならタダ 面倒だけど頑張ればできる
 - ✓ マクロ作ればいいんじゃないの？ (その工数は考えていない)
 - ✓ Enterprise Architectがいつまであるか、わからない
 - ✓ 実績がない・前例がない
 - ✓ いつかアドインも有料になるんじゃないの？
 - ✓ 変更しないほうが楽・効率化や改善で給料は変わらない(むしろ減る)
 - ✓ 会社代表(僕)が胡散臭い

まとめ

それでも、USDMMは役に立つ。